

令和 7 年 3 月

世田谷区立瀬田小学校 学校長
日高 玲子殿

学校関係者評価結果

委員長 百瀬 雪江
委 員 五十嵐裕紀子
黒崎 正裕
鴻池 美穂
佐藤 春美
中村 綾子
樋口 徹

瀬田小学校学校関係者評価委員会では、本年度実施した「学校評価アンケート調査」の集計結果をもとに、当委員会としての所見をまとめ報告書を作成した。

保護者回答率が低かった昨年度に比べ、今年度はアンケートの周知向上活動が実を結び、回収率が大幅に上昇した。これによりみなさまのご意見を前年度よりも高精度に分析・評価することが可能となった。

また、本年度は新たに自由記入欄を設け、アンケート回答者の匿名性を維持した状態での忌憚のないご意見の収集を試みた。

アンケート調査実施概要

	総数	回収	回収率 (%)
児童 (5・6年生)	2 8 3	2 6 4	93%
保護者 (全学年)	7 8 0	5 0 8	65%
地域	3 0	2 4	80%

肯定的回答 (とても思う・思う)

否定的回答 (あまり思わない・思わない)

その他の回答 (わからない)

令和6年度学校関係者評価アンケート結果に対する考察および提言

1. 学習指導について

本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。
本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。
本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。
本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。

肯定的回答が【児童】72%~92%、【保護者】65%~80%と高い評価となっており、昨年同様に良好な結果となっている。保護者回答の中でもっとも評価が低かった項目は「黒板の描き方やプリントなどの工夫」についてであり、授業における板書やタブレットによる映像投影については自由記入欄でも様々なご意見をいただいた箇所である。この辺りは教職員同士でも積極的に情報共有や講習等を通じてより良い手法を模索していただきたいと考える。

2. 生活指導について

本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。
本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。

肯定的回答が【児童】77%超え、【保護者】64%~75%となっている。学校生活でのルールや決まりを守り、自ら考え行動できる児童が増え高評価を維持できるよう引き続き指導していただきたい。

【地域】の交通ルールに関する肯定的回答も83%と昨年同様に高評価となっている一方で、否定的についても昨年の0%から転じて8.3%回答をいただいている。交通ルールやマナーについては引き続き児童に対し丁寧に指導していただきたい。

3. 学校行事について

学校行事は、子どもにとって楽しい。
学校行事は、子どもにとって達成感がある。
本校は、子どもの意欲を大切にしている。
事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。

【児童】【保護者】ともに肯定的回答が80%を超えており、中でも84%の児童が「行事は楽しい」と回答している。校舎改築工事で校庭が使用できない状況ではあったが、瀬田中学校及び保護者のご協力もあり、各種行事や朝遊びなどで児童が身体を動かす機会を増やしていただけたことを大きく評価したいと考える。

4. キャリア教育について

自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。
目標をもち、その実現に向けて努力している。
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。
区立中学校に関する情報が提供されている。

【児童】【保護者】ともに肯定的意見は昨年度を下回っており、なかでも保護者からの回答は肯定的意見が50%未満。(ただし残り50%は「否定的」と「わからない」がそれぞれ半々の割合であるため、必ずしも否定的ご意見が優勢というわけではない。)

しかし、児童の回答の「目標を持ち、実現に向けて努力している」については73%肯定的と出ている。この点で見れば学校側が意図するキャリア教育、つまり「将来の夢や目標を持って努力してますか?」といった部分はある程度成功していると言える。

この差を見るに、設問にある「キャリア」という言葉そのものが、特に保護者の方々にとってはもっと具体的な学歴、受験等の事象を想像させてしまい、本来意図する内容と回答者の認識にズレが生じている可能性があるのでは?と感じられた。

5. 教職員について

本校（先生たち）は、丁寧な指導している。
本校（先生たち）は、子どものことを相談しやすい。

【保護者】についてはいずれの設問へも肯定的が多数で、評価の高かった昨年度よりもより評価が向上している。間違いなく学校側の努力が保護者に認められている結果であると考えられる。

【児童】についても90%以上が先生方の指導に対して肯定的である一方、相談のしやすさについてはやや肯定的意見がやや下がっていた。先生方には児童たちとの信頼関係の向上に努めていただきたい。

6. 学校全般について

学校生活は楽しい。
学校が好き。
私は、家庭で宿題や e-ラーニングでの学習をしている。
私は、塾で学習している。
学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。
本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。
本校は、近隣の（幼）・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。

【児童】の「学校生活は楽しい」「学校が好き」高評価ではあるが、昨年同様、否定的回答をした子どもたちがいることを忘れず、次年度以降も引き続ききめ細やかに子どもたちに向き合い、取り組まれることを願う。

「学び舎」の中学校については【児童】【保護者】ともに昨年から評価に変化は見られず、低評価となっている。連携がとれる体制ではあるが、上手く活用できていないと思われる。「学び舎」に興味、関心を持てるような連携や交流活動を期待したい。

7. 学校からの情報提供について

本校は、様々な便りなどで、保護者（地域）に情報を提供している。
「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されている。
本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。
本校は、ホームページやメールなどで、保護者（地域）に情報を提供している。
学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。

【保護者】【地域】昨年度よりの肯定的意見が多くなり改善が認められる。

一方で自由記入欄では都民の日の休校対応告知やホームページの更新の遅さを指摘する声もあった。学校側もきちんとこれらを把握しており改善に努められておられるので、引き続き円滑な情報提供をお願いしたい。

8. 学校運営について

本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。

【保護者】の「本校は保護者に重点目標を伝えている」は肯定的回答が66%に微減し、「校長をはじめ教職員は協力して教育活動に取り組んでいる」については昨年同様の80%の高評価となった。前項での情報提供に関する部分は向上しているので重点目標についても「わかりやすい情報提供」に努めていただきたい。

【地域】の「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」については昨年度から大きく改善し肯定的意見が87%となった。地域の方々と良好な関係が築けている証であり、今後も同程度以上の評価を得られるよう努めていただきたい。

9. 学校と家庭の連携について

私は、学校公開にすすんで参加している。
私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。
私は、今年度の学校重点目標を理解している。

【保護者】肯定的回答が「私は学校公開にすすんで参加している」は昨年以上の92%「私は学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している」は63%、「重点目標の理解」に関しては昨年・前項同様に肯定40%程度と低めの評価となっている。

来年度から土曜日授業が廃止され、新校舎での授業も開始されることにより学校生活にも様々な変化が生じるため、学校側には保護者へのよりわかりやすい情報提供をお願いするとともに、これまで以上に保護者の方々との連携を深めていただくことを望む。

10. 地域との連携について

本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。
本校は、地域の活動などに協力的である。
本校は、地域に情報を提供している。
学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。

【保護者】【地域】ともに昨年同様概ね高評価となった。地域の協力が学校活動にとって必要不可欠であるという認識が保護者にも浸透しており、学校、保護者、地域の連携を今後も期待する。

11. 学校の安全性について

本校は、安全な学校づくりを進めている。
本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。
学校は、安全性を高めようと地域と協力している。

【保護者】【地域】ともに昨年度より肯定的ご意見が増え、高評価となっている。
来年度からは新校舎の運用が始まるので新たなルール決め等必要になってくる事と予想できるが、これらも地域との連携が不可欠であると考え。もしもの時にこそ地域と学校がそれぞれの役割を果たせるよう連携を強めていっていただきたいと願う。

12. 本校の重点指導目的他（学校独自項目）について

自分からすすんで「おはようございます」が言える。
ものを大切にして、整理することができている。
命を大切にし、安全に気を付けて生活している。
やさしい心で、相手の気持ちを考えて生活している。
「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことができる。
自分自身を大切にしている。
よいと思うことを、進んで行うことができる。
学校でのできごとを家で話している。
授業中、友達とのかかわりを通し、自分の考えを広げたり深めたりしている。
タブレットを正しく使っている。

【児童】肯定的回答が80%以上と高評価となっている。学校・教職員から児童への指導が上手くいっていると考えられる。校庭も使えず、仮設校舎での学校生活は児童にとっても窮屈だったと思うが、来年度以降の新校舎での学校生活が児童たちに良い影響を与えてくれることを期待したい。

自分の子供（本校児童）は、あいさつや返事ができるようになってきている。
自分の子供は、他者の気持ちを考えて行動している。
自分の子供は、自分自身を大切にしている。
自分の子供は、よいと思うことを、進んで行うことができる。
自分の子供は、学校でのできごとを家で話している。
自分の子供（本校児童）は、授業に集中し、生き生きと学んでいる。
自分の子供（本校児童）は、タブレットを正しく活用している。
私も児童によくあいさつをしている。
本校の児童は、安全に気を付けて生活している。
本校の児童は、地域の行事や地域の人とのかかわりを大切にしている。
私は、本校の教育活動に協力していきたい。

【保護者】【地域】からも肯定的回答が多く一定の評価が得られていると思われる。教職員や児童もタブレットの使用にも慣れてきており、家庭でのタブレット使用に関しても正しく使えていると思われる。今後も子どもたちが健やかで安全な学校生活が送れるよう、地域と保護者が学校とともに子どもに関わっていくことで高評価の維持が期待できる。

13. 自由記入欄について

今年度からより具体的なご意見をいただけるように試験的に自由記入欄を設けることとした。児童・保護者共に様々なご意見をいただけた為、マークシート式のアンケートからだけでは見えてこなかった事象があり有意義な結果になったと思われる。

内容については学校全体へのご意見だけでなく、個別事象・個人の特定にかかわるご意見なども含まれていた為、全体公開は不可能と判断した。しかしながらご回答いただいた内容は学校側がきちんと目を通しており、事実関係の確認と対策・対応が既に行われているのが確認できた。

14. まとめ

今年度はアンケートへのご協力に対する情報告知が上手く機能し、昨年度より回答率が大幅に向上、より精度の高いご意見収集ができた。そのような状況で、昨年同様に高評価となった事は大変すばらしく、学校側の努力の継続が目に見える形で表れていると言える。

教職員に対する評価はもともと高評価であった昨年度よりもさらに向上し、全体的に見ればかなり良好と言える。とはいえ、全体で見れば少数であったとしても否定的な感情を持っている児童へも目を向け、寄り添いの気持ちを大切に接していただけることを願う。

情報提供については保護者からの評価が向上し、プリントやデータによる告知が上手くいっていると考えられるが、自由記載項目で指摘のあった都民の日の休校に関する告知の不十分さやホームページ更新の遅さについては要改善点。また、昨年情報不足が指摘されていた「学び舎」についても特に改善は見られずであった。来年度からは新校舎の運用がはじまり、これまでと異なるルール導入や見直しなどが多数発生すると考えられる。まずは子どもたちが安全に、そして円滑に学校生活を送れるように、きちんと伝わる情報提供を心がけていきたいと思う。